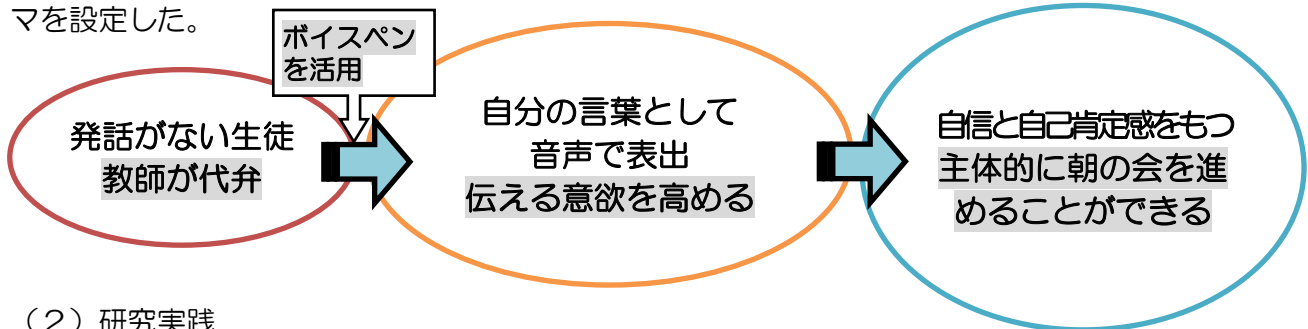


1	チーム名 (研究対象領域・教科) 中学部 日常生活の指導グループ
2	メンバー 中学部教員5名
3	チームのテーマ 生徒の伝える意欲を高める 日常生活の指導の工夫 ～ボイスペンを活用した朝の会の進行の仕方について～
4	対象児童生徒に願う主体的な姿 発話のない生徒が、伝える意欲を高め、自信と自己肯定感を持って、自分で朝の会を進めようとする姿

5 研究実践の内容

(1) テーマ設定の理由 (研究の仮説)

対象生徒は、内言語はもっているものの、発話がないため、主に絵や写真カードなどの視覚的な教材を通して、自分の気持ちや要望を周囲の人に伝えるように学習しているところである。これまで、朝の会の進行に関しては、進行表を利用して、発話文を指差し、教師が代弁していた。進行表の内容は理解しており、教師が代弁し終わると、次の発話文を指差すことができ、順序も間違えることなく正確であった。しかし、教師が代弁することによって、教師主導の朝の会になりがちであった。そこで、対象生徒が代替コミュニケーションツールとしてのボイスペンを活用し、自分の言葉として音声で表出することで、直接相手に伝えることの喜びを感じ、さらに、自分が朝の会を進めているという自信と自己肯定感をもち、主体的に朝の会を進められるのではないかと考え、テーマを設定した。



(2) 研究実践

授業・教材の改善【10月】

- これまで利用してきた朝の会進行表に、ボイスペン専用の録音シールを貼り、朝の会進行の内容を一文ごとに音声で録音した (教具改善)。



【変容と課題】

- ボイスペンを初めて出すと、目を大きく開き、興味深く見ていた。教師がボイスペンの使い方を見せると、ペンから音声が出ていることにとっても驚き、笑顔になった。その後も、録音シールをよく見て、自らボイスペンをあてることができた。
- 対象生徒以外の生徒も、ボイスペンから出る音声に関心を持ち、さらに耳を傾けるようになった。
- ボイスペンの持ち方によっては、垂直にあてるのが難しい。



授業・教材の改善【11月】

- 朝の会進行表を支える段ボールの土台が柔らかく、ボイスペンをあてにくかったため、土台を固めの材料に変え、傾きも調整した（教具改善）。
- 一日の予定カードにも一つ一つに録音シールを貼り、ボイスペンで音声化できるようにした。予定の確認はこれまで教師がやってきたが、対象生徒に係の仕事として行うようにした（意欲付け）。



【変容と課題】

- 1日の予定の確認は、これまで教師がやってきたが、この機会に対象生徒に促したところ、すぐにやる内容を理解し、意欲的に一日の予定の確認をボイスペンで順番にあてることができた。
- 指先が不器用なため、めくりにくそうだった。そのことによって、意欲が失われるところがあった。



授業・教材の改善【12月】

- めくりやすいようにインデックスを追加し、また、当番以外の生徒が現在の進行内容が分かるように、1枚ずつ裏にイラストを付けた（教具改善）。
- 朝の会進行表の文章を修正し、一日の予定の確認を対象生徒が担当するようにした（自分の役割）。



【変容と課題】

- インデックスを指で掴んでめくるようになってきた。
- 当番の日でなくても、一日の予定係として、毎日、ボイスペンを利用して予定の確認を行うことで、自分の役割に対して意欲を高めていくことができた。
- 自分の係の仕事（予定係）になっても、行動をアクションする様子がなく、教師の言葉かけで気付き、行動することがある。

6 成果と課題

朝の会は、一日の学校生活の始まりの場面であり、健康観察や一日の予定、今日の給食メニュー等を確認して意欲をもって一日をスタートする場である。しかし、発語がない生徒に対しては、教師が代弁することで進行しており、教師主導の朝の会になりがちであった。そこで、ボイスペンを導入することで、教師が側に付かなくても自分のペースで進行できるようになった。現在では、朝の会をととても楽しみにしており、自ら椅子に座って準備して待つ姿も見られるようになってきた。さらに、他の生徒にも良い影響を及ぼし、以前は「起立」と教師が代弁しても、なかなか立たなかったのが、ボイスペンの音声で聞くと、一斉にバツと立つようになってきた。ある生徒は、対象生徒が無事朝の会を進行し終わると、拍手して称賛する様子も見られた。ボイスペンを通して、主体的に朝の会を進めるだけでなく、他の生徒との関わりをさらに促進できる効果もあることが分かった。今後の課題としては、朝の会だけに固定せず、行事の司会進行等に範囲を広げて、ボイスペンを利用する場面を増やすことで、対象生徒が様々な場で活躍できるのではないかと考えた。

少人数での研修グループであったが、少人数だからこそその良さがあがり、活発に意見を交わすことができ、それが授業・教材改善につながった部分も多くあった。今後も多様な意見を取り入れて研究を進めていきたい。